



ふどり
水土里ネット

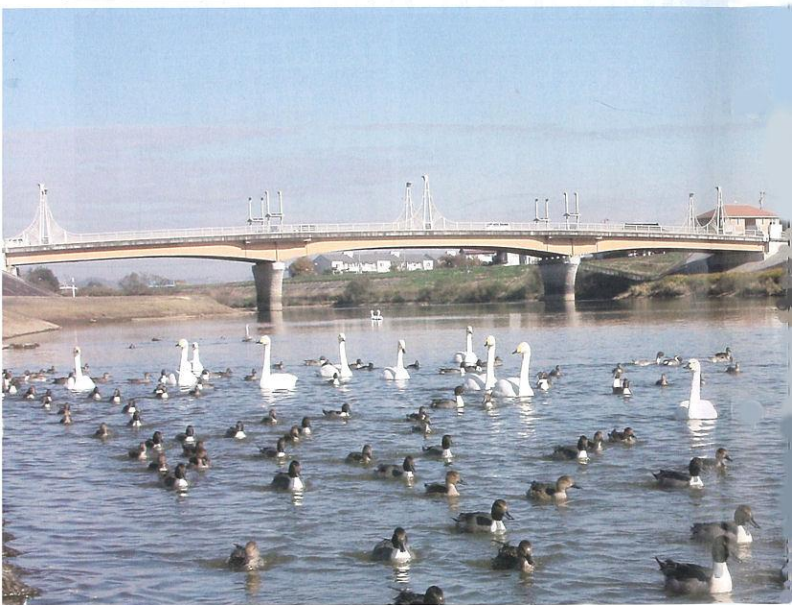
No.33

広報はとまがわ

H22. 12. 1 現在

地区面積 56,619,510㎡

組合員数 3,799名



冬の使者飛来

迫川と白鳥と鹿ヶ城大橋

H22. 12. 1 発行 迫川沿岸土地改良区総務課

TEL 0220 (58) 2024代 FAX 0220 (58) 2784

URL <http://www.hakuendo.dyndns.org>

E-mail hasama.r@s5.dion.ne.jp



あいさつ

理事長 上野智通

各地からは雪の便りも聞えてくる季節となりましたが、組合員の皆様方には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は土地改良区の事業運営に對しまして、特段の御協力と御支援を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、本年は総代・役員の任期満了に伴う改選期に当たり、五月に総代八十名が、また、六月には理事十四名、監事三名がいずれも無投票で選任され、その後行われた理事長の互選会で、全員の推薦を賜り再度理事長に就任することになりました。農業情勢が大きく変わろうとしている中で、改良区を運営していかなければならないという責任の重大さを痛感しているところでもあります。

今、農業を取り巻く情勢は日増しに厳しさを増しております。米価安定の名目のもとに四十年にわたり行われてきた生産調整ですが、本年は米価が暴落し、農家所得は昨年より大幅に減額しているのがあります。また、連日新聞等を賑わせている環太平洋連携協定（TPP）による貿易自由化の問題があります。農林水産省や宮城

県の試算等を見ますと、日本の農業が立ち行かない状態になるのではないかと、まして、登米市の基幹産業は農業でありますから、壊滅的な打撃を受けるのではないかと心配されてなりません。

今年度よりモデル事業として導入される農家戸別所得補償制度であります。従来は農業政策と比べ期待の持てる内容となっており、真に農家のためになるような制度に拡充する必要があります。そのためには関係機関との連携を強化し、組合員と役員一丸となり、我地方の声をもちて政治を変えて行かなければならないと考えております。

安全で安心な食糧を支え、改良区が今出来ることを常に考え、効率的な業務運営と有効な事業を活用し、組合員の負担に応えて参りますので、今後とも皆様方により一層の御支援、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、組合員皆様をはじめ関係機関皆様の御健勝をお祈りし挨拶と致します。

新総代八〇人 無投票で当選

任期満了に伴う総代選挙は、平成二十二年五月二十四日執行され、無投票で次の方々が当選されました。

尚任期は、平成二十二年五月二十七日から平成二十六年五月二十六日までの四年間です。

第一選挙区（定数 五〇）

佐々木 正（追町）
三浦 善男（追町）
千葉 輝義（追町）
小井 繁雄（追町）
名生 富峰（追町）
佐藤 良規（追町）
齋藤 悟（追町）
阿部 章吾（追町）
佐藤 榮吉（追町）
佐々木敏夫（追町）
及川 三男（追町）
伊藤 文男（追町）
三川 正恵（追町）
石川 賢（追町）
星 昌宏（追町）
島中 儀雄（追町）
大場 正勝（追町）

太田 正昭（追町）
鎌田 哲（追町）
村田 敏顕（追町）
永浦 匡（追町）
佐藤 研輔（追町）
佐々木貞雄（追町）
藤浦 秀敏（追町）
熊谷 英夫（追町）
白鳥 金夫（追町）
佐々木雄一（追町）
渡邊 敏雄（追町）
柴崎 専一（追町）
田口 信昭（追町）
高橋 強（追町）
高橋 敏一（追町）
高橋 照夫（追町）
佐々木啓二（追町）
中津川 實（追町）
引地 久義（追町）
西條 雅文（追町）
伊藤 吉浩（追町）
小野寺恵二（追町）
芳賀 博之（追町）
佐々木正治（追町）
三上 末男（追町）
小野寺勁一（追町）
佐藤 久一（追町）
杉森 秀雄（追町）
鈴木 隆（追町）

第二選挙区（定数 三〇）

小野寺 憲（米山町）
木村 勝美（米山町）
佐々木良二（米山町）
中館 幹男（米山町）
橋本 匡（米山町）
佐々木修夫（米山町）
佐藤 直（米山町）
泉 敬志（米山町）
青田 延吉（米山町）
鈴木 幸（米山町）
加藤 清（米山町）
福泉 勝司（米山町）
柳澤 淳一（米山町）
武田信太郎（米山町）
鈴木 正徳（米山町）
山田多賀男（米山町）
高嶋 長悦（米山町）
菅原 一郎（米山町）
木村 幸雄（米山町）
佐藤 保（米山町）
大場 勝治（米山町）
木村 栄幸（米山町）
吉田 利幸（米山町）
久保 勇（米山町）
青木 利導（米山町）
伊藤 浩彦（米山町）
松田 清孝（米山町）
野村 幸吉（米山町）
小竹 義幸（米山町）
長江 良男（米山町）
論（米山町）

平成22年 第1回臨時総代会開催

平成22年第1回臨時総代会が、6月16日午前10時登米市南方農村環境改善センターに於いて新総代77名の出席の元に開催されました。議長に三上末男総代を選任し、当土地改良区役員の任期が6月30日で満了になることから第1号議案 役員選挙執行についてが審議され、理事（定数14名）監事（定数3名）がそれぞれ無投票で選任されました。

また、7月1日に行われた互選会で理事長・副理事長・総括監事・各種委員が選任されましたので紹介します。



選挙会の様子



議長の三上総代



佐藤 秀夫
(米山町)



石崎 瑋一
(米山町)



副理事長
千葉 敏彦
(米山町)



理事長
上野 智通
(迫 町)

理事（十四名）

新役員紹介



木村 忠市
(米山町)



佐藤 養一
(米山町)



星 忠嘉
(迫 町)



三浦 市男
(迫 町)



星 信悟
(南方町)



遠藤 憲一

(南方町)



行澤 貢一

(米山町)



渡邊 幸作

(南方町)



村田 則顕

(南方町)



門間富士雄

(豊里町)



入江 博

(迫 町)



中津川史郎

(南方町)



総括監事
千葉 清幸

(米山町)

監事(三名)



新役員さんの紹介

新各種委員紹介

総務委員(六名)

委員長

佐藤 秀夫 (米山町)

委員

佐藤 養一 (米山町)

星 忠嘉 (迫 町)

村田 則顕 (南方町)

星 信悟 (南方町)

遠藤 憲一 (南方町)

工事委員(二十七名)

委員長

石崎 琇一 (米山町)

委員

渡邊 幸作 (南方町)

木村 忠市 (米山町)

三浦 貢一 (迫 町)

行澤 貢一 (米山町)

門間 富士雄 (豊里町)

佐々木 正 (迫 町)

小林 繁雄 (迫 町)

佐藤 良規 (迫 町)

佐藤 榮吾 (迫 町)

三塚 正恵 (迫 町)

鎌田 哲 (南方町)

佐藤 研輔 (南方町)

改選による退任役員

この度の役員改選により、田代正輝理事、畑岡永耕理事の二名が退任されました。

田代理事は、平成六年から総代を二期、その後理事として二期。また、畑岡理事は、平成十年から理事として三期それぞれ努められ、土地改良区運営に御尽力賜りました。

退任されます御二人に深く感謝申し上げますと共に、今後益々御活躍されますことをお祈り申し上げます。

平成22年

第二回臨時総代会開催

提出議案十二件原案可決



去る八月十日登米市南方農村環境改善センターにおいて、平成二十二年第二回臨時総代会が開催されました。上野理事長挨拶の後、議長に佐藤栄吾総代が選任され、平成二十一年度会計決算を主とした十二件の提出議案を、慎重審議の上、原案のとおり可決されました。

議決事項

- ▼第一号議案 平成二十一年度事業報告の承認について
- ▼第二号議案 平成二十一年度財産目録の承認について
- ▼第三号議案 平成二十一年度一般会計歳入歳出決算承認について
- ▼第四号議案 平成二十一年度特別会計（県営・団体営・県ほ

事業）償還金歳入歳出決算承認について

- ▼第五号議案 平成二十一年度特別会計（蕪栗沼遊水地事業地役権補償費）積立金歳入歳出決算承認について
- ▼第六号議案 平成二十一年度特別会計（職員退職給与・財政調整・農地転用決済金）積立金歳入歳出決算承認について

▼第七号議案 平成二十一年度特別会計（担い手育成支援事業）歳入歳出決算承認について

- ▼第八号議案 平成二十一年度一般会計歳入歳出補正予算議決について
- ▼第九号議案 平成二十二年特別会計（県営・団体営・県ほ事業）償還金歳入歳出補正予算議決について
- ▼第十号議案 平成二十二年特別会計（蕪栗沼遊水地事業地

役権補償費）積立金歳入歳出補正予算議決について



役権補償費）積立金歳入歳出補正予算議決について

- ▼第十一号議案 平成二十二年特別会計（職員退職給与・財政調整・農地転用決済金）積立金歳入歳出補正予算議決について
- ▼第十二号議案 平成二十二年特別会計（担い手育成支援事業）歳入歳出補正予算議決について

役権補償費）積立金歳入歳出補正予算議決について

平成21年度 事業報告

第1 地区及び組合員の状況

1 総地積

地区名	前年度末	本年度末	比較	付記
事務費	56,625,562㎡	56,568,479㎡	△57,083㎡	

2 組合員数

前年度末	本年度末	比較	付記
3,837人	3,781人	△56人	

第2 事業の状況

1 施設の維持管理状況

(1) 用排水機場の数 125機場

地区別	第1地区	第2地区	排水地区	沼崎地区	内浦地区	米山地区	その他
機場数	50	28	15	2	2	20	8

2 維持管理工事の施行状況

維持管理事業計画に基づき、各部落より申請のあったものを工事委員会で協議の上、工事委員、部落連絡委員及び職員により現場調査を行い施工した。更に政府の「経済危機対策」に関する「農地有効利用支援整備事業」が拡充され、大幅に予算が増額になったことから本土地改良区も事業申請を行った。その申請件数は8地区で申請額18,417千円であったが、補助率50%により約9,207千円が負担軽減された。

第3 事務の経過

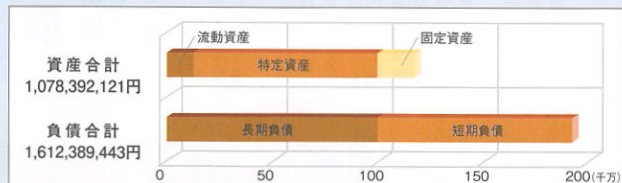
1 本年度中の主な行事

会議名	総代会	理事会	監事会	総務委員会	工事委員会	諸会議
回数	2回	5回	4回	3回	1回	3回

資産と負債のあらまし

流動資産 101,122,508円 特定資産 807,783,012円 固定資産 169,486,601円

一般会計預金…62,906,523円 退職・財政・決済金積立金 土地…15,488,832円
 特別会計預金…18,952,316円 …709,132,855円 建物…126,867,071円
 未収入金…19,263,669円 蕪栗沼遊水地事業地役権補償費 機械…4,142,280円
 …97,120,157円 備品…22,988,418円
 基金・出資金…1,530,000円



長期負債 806,136,431円

日本政策金融公庫…325,044,069円
 みやぎ登米農協…481,092,362円

短期負債 806,253,012円

退職給与積立金…224,459,578円
 財政調整積立金…354,045,612円
 決済金積立金…130,627,665円
 蕪栗沼遊水地事業地役権補償費
 …97,120,157円

平成21年度 一般会計決算

◇歳入 925,051,886円

項 目	決 算 額	率(%)	主な内訳
組 合 費	636,596,974	68.9	平成21年度賦課金
雑収入・土地代金	5,928,478	0.6	用水使用料・電柱敷地料他
諸収入・過年度収入	4,309,778	0.5	機場官舎補修積立金・未収賦課金
補 助 金	11,244,000	1.2	施設管理及び排水補助金他
委 託 管 理 費	37,688,250	4.1	基幹水利施設管理事業費・委託管理費
繰 越 金	59,628,735	6.4	前年度よりの繰越金
交 付 金	35,280,000	3.8	管理体制整備事業交付金・派遣職員交付金
繰 入 金	125,028,274	13.5	特別会計よりの繰入金
機 場 受 託 費	9,347,397	1.0	仮屋・大綱機場管理受託料

◇歳出 862,145,363円

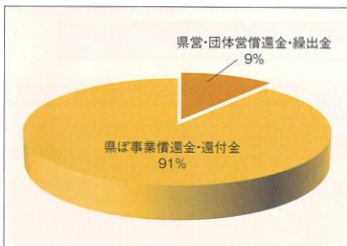
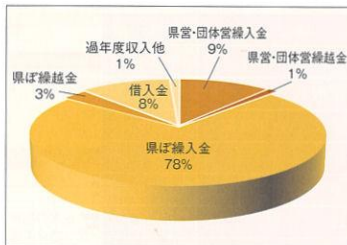
差引残金 62,906,523円(翌年度へ繰越)

項 目	決 算 額	率(%)	主な内訳
事 務 費	117,150,059	13.5	報酬・給料・諸手当・事務所管理等事務費
会 議 費・交 付 金	11,536,368	1.3	総代会・役員会・委員会等の会議費・完納奨励金
諸 支 出 金	18,037,213	2.1	各種団体負担金、厚生福利費、広報、自動車維持費等
繰 出 金	206,711,800	24.0	特別会計償還金、退職積立金へ繰り出し
管 理 費	342,922,986	40.0	給料、諸手当、委託管理費、電力費、水路費等
基幹水利施設事業費	36,276,000	4.2	基幹水利施設管理事業費
事業費・農業農村推進事業費・調査費	16,053,588	1.8	基幹水利施設補修・適正化・農山漁村支援事業費・子供体験学習他
操 作 管 理 費	9,347,397	1.1	仮屋・大綱機場操作管理費
退 職 給 与 金	85,692,952	9.9	退職給与金
農地有効利用事業費	18,417,000	2.1	

平成21年度特別会計 県営・団体営・県ぼ事業償還金決算

◇歳入 250,415,294円 (円)

項 目	決 算 額
県営・団体営繰入金	21,814,100
県営・団体営繰越金	1,597,952
県 ぼ 繰 入 金	196,321,209
県 ぼ 繰 越 金	7,880,039
借 入 金	21,000,000
過 年 度 収 入 他	1,801,994



◇歳出 240,252,832円 (円)

項 目	決 算 額
県営・団体営償還金・繰出金	21,948,618
県ぼ事業償還金・還付金	218,304,214

差引残金 10,162,462円(翌年度へ繰越)

特 別 会 計 決 算 状 況

蕨栗沼遊水地事業地役権補償費 積立金

歳入 97,120,157円 歳出 0円 差引残金 97,120,157円 (翌年度へ繰越)

職員退職給与・財政調整・農地転用決済金 積立金

歳入 833,525,807円 歳出 124,392,952円 差引残金 709,132,855円 (翌年度へ繰越)

担い手育成支援事業

歳入 16,546,270円 歳出 7,860,000円 差引残金 8,686,270円 (翌年度へ繰越)

事業地区別償還金残額調書

平成22年度末

単位：円

地区名	県営ほ場整備	県営かんばい	平準化事業	団体営事業	10a当残金	最終償還年度
県営第1地区	千貫分区分 千貫区	7,803,285		3,797,000	6,735	H.26(H.27)
	野谷地区	743,392	833,000		6,615	H.25(H.27)
	畑岡分区分	4,001,138			5,255	H.26
	一の曲分区分	16,155,960	29,060,000		58,692	H.25(H.34)
第2地区		19,389,691			4,668	H.25
第3地区		5,752,544			1,929	H.27
第4地区		9,779,828			4,490	H.26
第5地区		8,464,181			2,426	H.24
第6地区		8,411,661	89,800,000		26,902	H.24(H.31)
第7地区		80,937,267			8,370	H.24
第8地区		4,697,992			816	H.25
第10地区		17,989,149	2,480,000		5,922	H.27(H.24)
第11地区		13,398,859	37,290,000		43,925	H.29(H.32)
第13地区		41,159,344			39,664	H.26
長沼地区	町新田区	5,732,111			38,122	H.32
	地糧区	5,627,713			36,610	H.32
北浦地区		24,738,662			45,795	H.33
迫南地区	泥内区	28,671,527			60,801	H.34
	土手ノ内区	10,811,129			42,889	H.34
	茂伝治区	2,027,665			29,024	H.34
野谷地地区		66,134,679			31,210	H.36
城内地区		14,845,650			19,901	H.37
県営事業	第1地域		21,481,742		749	H.25
	第2地域		2,770,135		127	H.25
添沼地区				8,360,164	33,275	H.30

※償還残金には、利息が含まれない金額となります。

() は、平準化事業の最終償還年度

21世紀土地改良区創造運動活動報告

当土地改良区では、子どもたちを中心とした地域住民と農家との交流による地域づくりを推進し、農業・農村の持つ多面的機能や、それらを支える農業水利施設及び土地改良区の役割や重要性について情報発信を行い、理解と協力を得るため21世紀土地改良区創造運動を積極的に展開しています。

水辺環境を学ぶ

8月31日、登米市立北方小学校5年生(35名)の総合学習で、身近な水辺環境の現状を知ってもらおうと、農業用水の水源地である「長沼」の水質調査や農業水利施設を見学、更には昨年度から稼働を開始した中央管理所の水管理システムについて学びました。

★ 農業水利施設見学 【中央管理所・早稲田揚水機場】

★ 水質調査 【長沼】

● pH(水素イオン濃度:水溶液の性質を表す単位)

結果 水道水 pH 6.5 (弱酸性)

長沼 pH 8.5 (アルカリ性)

● COD(化学的酸素要求量:水の汚れを判断する目安)

結果 水道水 COD 0~5 mg/ℓ

長沼 COD 20 mg/ℓ

長沼の水は、pH・CODともに基準オーバーでした…残念

※ 農業用水の水質基準(水稲) pH 6.0~7.5 弱酸性~弱アルカリ性
COD 6mg/ℓ以下(昭和43年3月 農林水産省)



体験活動の様子



施設の機能維持保全と農村景観形成活動

《今年の穴山幹線用水路壁画の作品》

毎年皆様のご協力のおかげで、ゴミの不法投棄抑止や草刈り等維持管理費用の節減に大きな効果が出ています。

米山町猪込子供会

9/20



20人 L=7.5m



米山町八軒小路子供会

10/9



27人 L=6.0m



米山Jrバスケットボールクラブ

11/7



20人 L=7.5m



個人 L=6.0m



個人 L=1.5m



揚水機場施設見学

土地改良区が果たす役割や重要性及び農業水利施設のもつ多面的機能を啓発することを目的に、管内小学校児童と地域住民による農業水利施設の見学会を行いました。揚水機場では役割や仕組みを説明し、遠隔操作や手動によるポンプの起動体験も行いました。



北方小学校5年生(早稲田揚水機場)



米山町三日町
[農地・水・環境保全向上活動組織]
(米山揚水機場)

水土里ネットはさがわ からのお願い

このようなときは、改良区まで届出下さい。(登記所、市役所、共済組合、農協等の名義を変更しても、改良区へ届出しなければ組合員等を変えることは出来ません。手続きを忘れないで行って下さい。)

必要な届出	届出用紙
・土地の移動があったとき。 (農地の売買、受委託等)	組合員資格喪失通知書
・名義や住所に変更があったとき。 (贈与、経営移譲、農業者年金受給、死亡等)	
・農地を農地以外のものに転用したとき。 (地区内の農地を宅地に転用、公共用地に買収等)	農地転用・地区除外申請書 (決済金の支払いが生じます。)
・開田を作付けまたは休耕したとき。 ・振替口座の移動等があったとき。	用水使用、休耕届 口座振替申請書

・新しい資格者が滞納金を負担

農地を購入される場合は、事前に滞納金の有無を土地改良区に確認の上、契約をされますようお願いいたします。もし賦課金の滞納がある土地をそのまま購入しますと、購入された方が滞納金を支払うよう法律(土地改良法第42条)で規定されています。(使用貸借等も同様です。)

・賦課金納入のお願い

現在未納になっている方については、速やかに納入くださるようお願い申し上げます。

土地改良区の運営は、賦課金によってまかなわれております。

納付の相談については、会計課において行っております。何らかの事情により納付が遅れている方は、お気軽にご相談ください。

迫川沿岸土地改良区 理事長表彰

永年に亘り機場機関手として、又水路監視人として、かんがい用水の供給と用排水施設の管理に尽力を頂いた功績により、次の方々が表彰されましたので紹介します。

阿部 善一 朗
菅原 幸雄
星田 敏雄
村藤 利雄
高橋 清範
後藤 榮志
大久保 透
佐藤 正勝
米谷 章
上野 成樹
菅原 久作
亀井 規
千葉 善規

(敬称略)

人事往来

◎部落連絡委員

土地改良区の円滑な運営を期するため、改良区と組合員のパイプ役としてお世話をして下さる、部落連絡委員の新しく交代された方がたを紹介いたします。

◎職員の一部

平成二十二年十一月一日付
退職 佐藤三男

◎(賦課徴収係主査)

昭和五十年登米郡南方迫川土地改良区に勤務。以来三十五年間土地改良区の業務に尽力されました。長い間大変御苦勞でした。

加藤 三男 藤 正良 小野 秀敏 橋本 敏一 三浦 善匡 渡邊 敏雄 佐藤 保彦 高橋 利保 鈴木 幸強 永竹 匡幸 小川 幸一 柳 淳一 加藤 清一 芳賀 博之 伊藤 忠輝 千葉 幸義 菅原 清輝 及川 三男